

火の魂ファミリーの皆さんいつも本当にありがとう。

新年度が始まり、弊社も高級食パン（ハレパン）の出店と台湾カステラのキミとホイップを新規出店しました。ゴールデンウィークで沢山のお客様が来店してくださいました。皆さんのお陰で滞ることなく無事に営業できたことに感謝しています。

協力してくれた皆さん本当にありがとうございました。

さて、今月の社長からの手紙は、初任給をもらう新入社員に対して毎年送っている親孝行へ関するメッセージを手紙にも書いてみたいと思う。

---

私が伝えたことは産んでくれた両親がいたから今の自分がいるということです。

過去にかなしく泣いたこと、思いっきり笑ったこと、悔しかったり、怒ったり、悩んだり、感動したり全ては産んでくれた人がいるから今があるし、これからの未来があるのです。社会に出るまでは、私もそうですが親を心配させたり苦勞かけたりと沢山面倒を見てもらいました。みんなが赤ちゃんの時は親が面倒を見てくれたから学校にも行けたし社会人にもなれたのです。社会に出ると言うことは、いつか親が年老いた時に子が親の面倒を見る力をつけるために働くのと言う意味でもあります。

社会に出て1番初めてのお給料は親に感謝の気持ちを伝えてください。

恥ずかしい気持ちはあるでしょう。照れくさい気持ちもあるのも分かります。ですが、それよりもどんな形であろうともお世話になった人に感謝を伝えることは大切です。経営方針書に書いてあるお礼のメッセージを送ると書いてあるのは、お世話になったのは当たり前じゃない感謝する大切さと言う意味があるのです。一生に一度の機会ですから、社会人になるまで育ててくれた事を感謝の気持ち真剣に伝えてください。

感謝の気持ちを伝えることの大切さ、当たり前と言う気持ちが感謝する気持ちを忘れ人は幸せに気づけなくなるものです。大切なことですから親孝行月間として必ずやり切ってください。新卒の社員にも事後にはなりますが、親孝行手当を支給しますので改めて実施してください。火の魂カンパニーは感謝する事の大切さを新卒社員から会社全体に伝えていきます。本来なら社会の親代わりの私がみんなを預かって面倒見るので私が直接一人一人の親御さんに育ててくれた事のお礼を伝えたいですが、私の代わりにお礼を伝えて下さい。

---

社会に出ると言うことは、今までお世話になった人に恩を返すことでもあると私は考えています。振り返ってみると私も多くの人の支えがあって社会人に慣れました。

私は30才を過ぎてから親の気持ちが分かるようになり、少しずつですが親の力になることが多くなってきたと感じています。社会に出て自立するとは、自分の家族そして支えてくれて1番身近な人を精神的にも経済的にも力になれる大人に成長すること。新入社員の皆さん、まずは自分自身で精神的にも経済的にも自立を目指していこう。